

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) 高梨乳業株式会社	住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒241-0023 神奈川県横浜市旭区本宿町5番地
----	-------------------------	----	---

本票作成	部署名：岡山工場 工務課
------	--------------

主たる業種	分類コード 09	業種名：食料品製造業
-------	-------------	------------

事業の概要
岡山工場では県内から西日本全域にかけて販売する牛乳、加工乳、乳飲料などを製造。生産量は年間約29,489kL（平成30年度）、従業員数は70名、年365日稼働体制となっている。

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	岡山工場	倉敷市片島町187-1

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kL以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 26 年度)	(平成 30)年度排出量	目標年度(令和 元 年度)
	5,613 t CO ₂	5,081 t CO ₂	5,332 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 30)年度排出量
	①	岡山工場	5,081 t CO ₂
		t CO ₂	
		t CO ₂	
		t CO ₂	
		t CO ₂	

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 27 年度	～	令和 元 年度	(5 箇年度)
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(30)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	9.5 %	5.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達	

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	(30)年度	目標年度
		CO ₂ /()	CO ₂ /()	CO ₂ /()

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 30 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

1)平成30年度の生産量は29,489 kL（平成29年度31,338 kL）前年度比94.1%であった。生産量減少に伴い、エネルギー使用量も減少した。
 2)省エネ施策「殺菌機冷却水をチラー水からブライン液に切替」や「排水ブロワポンプ間欠運転（停止時間延長）」などにより電力量を前比150kwh削減した
 3)重油は、燃油を前比51 kL削減した。

【推進体制】

- 1) エネルギー使用量削減は環境マネジメントプログラム計画に基づき施策実行中。
- 2) 各職場から選出の環境推進委員会を毎月実施。エネルギー使用量のレビューの他、エア漏れ、スチームトラップの点検等をメンバーが中心となって行なっている。
- 3) 環境委員会は工場長以下職制で編制し毎月実施。ISO14001活動全般の進捗確認等を行なっている。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山工場	<p>(平成30年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・30年度 排水処理設備 児雷也間欠運転実施 ・30年度 殺菌冷水チラーブライン化 ・30年度 サージタンクCIPリンス短縮 ・30年度 抽出タンクCIP回数削減 <p>(令和元年度計画) 今後実施予定分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・31年度 排水処理設備 児雷也間欠運転 停止時間延長 ・31年度 ブラインチラー長期不使用時停止 ・31年度 ラインCIPリンス水コールド化

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

企業と協働の森づくり事業への参加。
 ・高梁市美しい森での森林保全活動参加継続
 ボイラ燃転 (A重油→都市ガス) 検討中